

《きっずぽけっとミニ通信 NO. 237 2025年4月発行》

春の花が芽吹き始め、暖かさを感じられる季節になりました。
ご家族でお弁当を持ってお花見に行くのも楽しいですね。
また、4月は新生活が始まる方も多い時期です。
体調に気をつけてがんばりましょう！



今月は言葉かけについてご紹介します。

赤ちゃんは生まれる前から、お父さん、お母さんの声や周りの人の声を聞いています。早い段階から聴力が発達するので、言葉による働きかけで赤ちゃんの脳を刺激することが大事です。

生後2ヶ月頃からは「うー」というような泣き声以外の音を発声するようになり、生後5ヶ月頃から喃語(なんご)という初期の言葉、例えば「あぶあぶ」など、簡単な反復の音を発するようになります。自分の声を聞きながら、発声や発音の練習をしているのかもしれないね。

歌をうたってあげたり、おむつ替えの時には「気持ちがよくなったね」など、日頃からたくさんの言葉で話しかけてあげてください。

ご家庭内でのあいさつも大切です。笑顔で「おはよう」「おやすみなさい」などのあいさつを心がけましょう。

8ヶ月頃からは「ごはんがおいしいね」「ママと公園に行こうか」など、単語だけではなく、主語述語を意識した声かけをしましょう。

0歳から2歳までには20語くらいの言葉を発し、2語の文まで話すことができると言われていますが、言葉の発達はお子さんひとりひとりで違うものです。のんびり、ゆっくり行きましょう！

参考資料:どんちやか幼児教室HP



2024年の5月号から7回担当させていただきました。読んでいただきありがとうございました。M.I